

**【 勲 章 】**

春秋叙勲：第1回の叙勲は、昭和39年4月29日付けで、各界の功労者に対して授与され、その後現在に至るまで春秋叙勲として毎年2回、春は4月29日付けで、秋は11月3日付けで授与されています。候補者は、栄典に関する有識者の意見を聴取して内閣 総理大臣が決定した「春秋叙勲候補者推薦要綱」に基づき、各省各庁の長から推薦されます。内閣府賞勲局は、推薦された候補者について審査を行い、原案を取りまとめます。その後、閣議に諮り、受章者が決定されます。

**【 褒 章 】**

春秋褒章：黄綬褒章とは、農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方を対象とするもので、毎年春は4月29日に、秋は11月3日に、春秋叙勲と同日付けで授与されます。

表彰名	協力会社名	受章者	業種
2015年春の叙勲 瑞宝単光章	株式会社石渡康三郎塗装店	玉岡 成奎	塗装工事
//	壺山建設株式会社	下舞 伸一	掘削・解体工事
//	株式会社掛谷工務店	吉川 義博	大工工事
2015年秋の叙勲 瑞宝単光章	株式会社乾建設（雇用会社：株式会社山下組）	那須 登一	鳶・土工事
2015年秋の褒章 黄綬褒章	株式会社亀井組	東郷 章	左官工事

### 【建設マスター】（優秀施工者国土交通大臣顕彰）

趣旨：建設産業は、住宅・社会資本整備の直接の担い手として、国民生活の向上に重要な役割を果たす国の基幹産業です。建設産業が良質な建設生産物を効率的に供給し、活力と魅力あふれる産業として発展するためには、優秀な人材の確保・育成が必要不可欠となっています。そこで国土交通省では、現場の第一線で「ものづくり」に直接従事している方の中から、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成に多大な貢献をしている建設技能者の方を対象として、平成4年より実施してきた優秀施工者建設大臣顕彰を平成13年度より標記名称に改め継続し、毎年顕彰しています。

#### ◆『建設マスター』は最高峰の技能者

選考方法：建設業者団体、都道府県及び国土交通省北海道開発局並びに地方整備局から推薦を受けた方について、優秀施工者国土交通大臣顕彰審査委員会において審査・選考のうえ決定

顕彰基準：①技能・技能が優秀であること。

②工事施工の合理化等に貢献していること。

③後進の指導育成に努めていること。

④安全・衛生の向上に貢献していること。

表彰名	協力会社名	受賞者	職種
2015年建設マスター	株式会社浪花組	三又 寿国	左官工
〃	株式会社浪花組	西村 征志	左官工
〃	南晃工業株式会社	湊上 恒	左官工
〃	川田工業株式会社	古川 大介	鋼構造物工

**【なにわの名工】（大阪府優秀技能者表彰）**

目的：優秀な技能者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、もって技能者の地位及び技能水準の向上を図ることを目的とする。

選考基準：被表彰者は、推薦のあった次の各号のすべてに該当する者のうちから、知事が専門的知識及び技能を有する有識者の意見を聞いて決定する。

- 1.きわめて優れた技能を有し、その技能が府内において第一人者として認められる者。
- 2.表彰日現在、優秀な技能を持って、15年以上の実務経験を有し、かつ、その職業に従事している満年齢35歳以上の者。
- 3.職業を通じて、後進技能者の指導、あるいは教育、訓練に携わり、技能者の育成に寄与したこと及び技能に関する工夫、改善等によって生産性の向上に役立ったこと等により、労働者の福祉の増進及び産業の発展に寄与した者。

表彰名	協力会社名	受賞者	職種
2015年度なにわの名工	株式会社深阪工務店	伊東 文好	建築大工
〃	株式会社仁和工務店	高瀬 亮児	型枠大工
〃	株式会社フロッツワークス	曾我部 進	左官
〃	三同建設株式会社	下玉利 友章	建設機械運転工
〃	ダイケンエンジニアリング株式会社	立和名 徹	ボード仕上工

**【なにわの名工若葉賞】（大阪府青年優秀技能者表彰）**

目的：青年技能者（35歳未満）のうち、優秀な技能を有する者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、もってこれからの産業発展を担う青年技能者の社会的地位及び技能水準の向上を図ることを目的とする。

選考基準：被表彰者は、推薦のあった次の各号のすべてに該当する者のうちから、知事が専門的知識及び技能を有する有識者の意見を聞いて決定する。

- 1.きわめて優れた技能を有する者。  
一級技能士若しくは単一等級技能士あるいはこれと同等以上の技能を有する者、又は技能に関する全国大会等の入賞者。
- 2.表彰に係る技能を要する職業に現に従事している者。  
その者の従事する業務に関して、表彰日現在7年以上の実務経験を有し、かつ、満年齢35歳未満の者であること。
- 3.技能を通じて産業の発展に寄与した者  
技能に関する工夫、改善等による生産性の向上を通じて産業の発展に寄与した者であること。
- 4.他の技能者の模範と認められる者

表彰名	協力会社名	受賞者	職種
2015年度なにわの名工若葉賞	株式会社関西スチールフォーム	平松 健一	建築鉄筋工
〃	株式会社ハシモトアキ（雇用会社：有限会社竹組）	上ノ堀 賢悟	建築とび工
〃	株式会社ハーテック	三石 泰季	建築塗装工
〃	株式会社石渡康三郎塗装店	山中 嘉毅	建築塗装工

## ◆技能五輪国際大会とは

技能五輪国際大会は、正式には、国際技能競技大会（World Skills Competition）と呼ばれています。  
この大会には、憲章が定められており、大会の目的は、参加各国における職業訓練の振興と青年技能者の国際交流、親善を図ることにあります。  
大会の起源は、1950年にスペインの職業青年団が提唱して隣国ポルトガルとの間で各12人の選手が技能を競ったことから始まりました。  
逐年参加国および出場選手を増加させ、若い技能労働者の祭典と呼ばれるにふさわしい大会に発展してきました。  
日本は、1962年の第11回大会から加しており、毎回優秀な成績を収めています。

大会の運営は、ワールドスキルズインターナショナルによって行われ、同組織委員会のメンバーは、加盟各国からの公式代表及び技術代表により構成されています。日本からは、中央職業能力開発協会（JAVADA）が同機構のメンバーとなっており、国際大会に日本選手団を派遣しています。大会は、現在、2年に一度（奇数年）開催されており、これまで、1970年の第19回大会（東京・千葉）、1985年の第28回大会（大阪）、2007年の第39回大会（静岡・「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」として「国際アピリンピック」と同時開催）が開催されました。

表彰名	協力会社名	成績	受賞者	職種
第43回技能五輪国際大会 （ブラジル・サンパウロ大会）	株式会社きんでん	金メダル	島瀬 竜次	情報ネットワーク 施工

※第43回技能五輪国際大会は、2015年8月11日(火)から8月16日(日)まで、ブラジル・サンパウロで開催され、日本選手は、5職種で金メダルを獲得しました。

今回の大会では、日本を含めた59か国・地域の1,189名が参加して50職種の競技が行われました。

日本選手は、40職種の競技に参加し、「情報ネットワーク施工」、「製造チームチャレンジ」、「自動車板金」、「電子機器組立て」、「移動式ロボット」の5職種で金メダルを獲得し、銀メダル3個、銅メダル5個、敢闘賞13個の成績を収めました。